

第2学年3組 学級活動（1）学習指導案

10月23日(火)第5校時

指導者 栗原 健一

展開場所 2年3組教室

1. 議題 「こうきの かかりをきめよう」

2. 議題について

(1) 学級の実態（男子13名 女子13名 計26名）

本学級の児童は、友達が嫌がることをしたり、わがままを言ったりすることも少なく、毎日仲良く過ごしている。男女の仲も非常によく、休み時間は一緒に遊んでいることが多い。また、学習中にわからないところがあると教え合ったりするなど、協力して物事を進めていく姿勢も身につけている。

これまで本学級では、学級目標である「友だちを大事にする元気なクラス 親切 元気 進む」を実現するために、朝の会や帰りの会などを通して学級への帰属感や、自分たちの学級をよりよくしたいという思いを育ててきた。学級会では、教師主導ではあるが、計画委員を中心に係決めや運動会のスローガン決めなど「物事をみんなで話合って決めていく」ということを経験してきた。

しかしながら、話し合い活動自体が「何かを決めるため」に行うことが多く、「思いを学級で実現するため」の話し合いまで至っていない。「私がこういうことをしたらみんな喜んでくれるだろうなあ」という願いはあっても、その願いが実際の活動になることは少ない。自分の思いを他者と共有し、実現に変えていくような経験や力が足りないように思える。また、話し合いの方法についても未熟なところが多い。話が平行線になったり、意見が出ず困ったりしたら、それ以上議論を深めることもなく、すぐに多数決で決めてしまうことがある。どうしてそのような意見になるのか理由をしっかりと聞き、少数意見を大事にしながら、お互いが納得して話し合いを進めていく姿勢に欠けている。

(2) 議題選定の理由

そこで本議題では、「後期の係決め」を通して、自分ならみんなのためにこうしたいという思いを実現するための話し合いを行う。

この時期は、後期が始まって間もないということもあり、子どもたちは、新しい係活動に対して期待感を持ち、意欲的になっている。まず、前期の係活動のふり返しを行い、自分達の実践を見つめ直すことで後期への課題を掴めるようにしたい。次に学級目標達成のために、みんなができることはないかと問いかけることで、個々の願いや思いが、係活動を通して実現していくことができるという道すじを示したい。また、2年生にとっては、係活動とは何かということが、よくわかっていないことも考えられる。後期にさらに活動の場を広げるためにも、一般的にどのような係や活動があるかということを知りやすく例示したり、係と当番の違いを説明したりすることで、係活動の特質や意義を理解し、自分の思いが活かせるようにしたい。

一人一人が目的意識を持ち、話し合いに参加することで、互いを認め合い、協力し合える係決めができるようにしたい。

3. 研究主題とのかかわり

研究主題

「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」
～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する指導の在り方及び
学級集団をめぐる今日的な課題への対応～

研究目標

学級活動等の集団活動における児童生徒の自主的・実践的態度を育成する指導の在り方を明らかにするとともに、特別支援を要する児童生徒の対応の仕方等、今日的な学級経営を巡る問題を模索する。

研究仮説

- (1) 学級活動等の集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の課程を具体的に掴ませ、活動に取り組みせれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。
- (2) 学級経営を推進する上で生じる諸問題について、その原因を把握し、効果的な方法によって、適切に対応すれば、児童生徒の理解が得られ、円滑な学級経営が営まれ、集団活動が一層活発になるであろう。

本授業では、仮説（1）についての検証を試みることにする。

仮説（1）について

学級活動等の集団活動において、学級の実態を踏まえ（①）、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし（②）、活動の課程を具体的に掴ませ、活動に取り組みせれば③、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。

①学級の実態把握

アンケート「こうきのかかりを考えよう」から

●こんな活動がしてみたい。こんな〇〇を作りたい

- ・いきものを大事にする活動
- ・みんなで遊ぶ活動を考える活動
- ・先生がいないときに電話に出る活動
- ・落とし物を整理する活動
- ・学級文庫の整理をする活動
- ・掲示など教室の剥がれたり壊れたものを直す活動
- ・みんなにマジックを見せる活動
- ・みんなを元気にする活動
- ・持ち物をチェックする活動
- ・みんなを助けるお助け活動
- ・お知らせカードを書く活動
- ・通信や新聞を書く活動
- ・みんなで歌を歌う活動
- ・みんなにあいさつをする活動
- ・ドッジボールをする活動

●「こんな活動がしたい」を係にすると、どんな係名になりますか。

おせわ	チェック	あそび	キレイ	日直手伝い
せいとん	れんらく	おわらい	元気	大工
でんわ	つうしん	いきもの	計かく	お休み

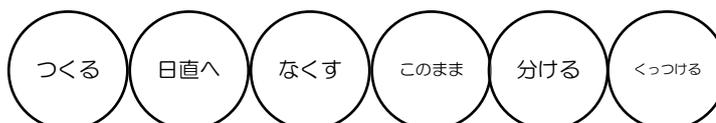
ものづくり	あいさつ	友だち	わすれもの	おうえん
けいじ	しゅう理	やさしい	自ぜん	めだか
マジック	ドッチボール	おとしもの		

②課題意識や役割分担の明確

係名・係再編成の方法の揭示

低学年では、係を再編成するという経験が乏しい。そこで、係を再編成する具体的な方法を提示することで、明確なイメージを持って話し合いに参加できるようにしたい。また、一般的に考えられる係活動の取り組みや、仕事内容を揭示することで、どんな活動をしていきたいか具体的に掴めるようにしたい。

☆再編成の例☆



学級会ノートの活用

話し合いで自分の意見を急に述べることは難しい。議題内容に対して、自分の意見やその理由を事前に学級会ノートに書き、自信を持って発言できるようにしたい。また、学級会ノートは、低学年でもわかりやすい簡単で使いやすいものを用意する。

③活動の過程を掴むために

2週間の活動の流れのサイクル化

有限な時間の中で話し合いを計画し、深め、実践につなげていかななくてはならない。最小限の時間で最大限の効果が出るよう、曜日や時間ごとに活動する内容や方法を提示し、2週間でサイクルが完成するように手立てをし、計画性を持って取り組めるようにする。

曜日	月①	火①	水①	木①	金①	月②	火②	水(学級会)	木②	金②
朝の会	ポスト開封	議題の告知			学級ノート 提出			学級会の告知	実践呼びかけ 振り返り提出	
業間						アンケート結果揭示				
ランチ	計画ランチ 議題の選定					計画・司会 打ち合わせ			実践スタート	
昼休み			掲示コーナー準備							
帰りの会		学級ノート 配布			来週の告知			学級会ノート 振り返り指示		

係活動を計画的に進めるための手立て

学級で使用している「誕生日おめでとうカレンダー」を利用し、3ヶ月先までのおおまかな学級や学校の行事の予定がわかるように掲示しておく。今後の予定を提示することで、計画性を持って係活動に取り組むことができるようにする。

サニーコーナー（学級会コーナー）の掲示

掲示コーナーに、次回の学級会の議題内容や提案理由を掲示し、何を話し合うのか、話し合う理由は何か、何を決定するのかが詳しく分かるようにしたい。また、計画委員からのコメントや、事前の意見の傾向を知らせることで、児童の活動意欲を喚起したい。

板書の効率化（補助具の活用）

◆マグネット付短冊

教師が、意見を簡潔にまとめて書き込み、黒板係が掲示することで、話し合いがスムーズに進められるようにする。

◆マグネット付のネーム

発言者が誰なのか、わかるように掲示することで、発言者の意欲を喚起したり、誰の意見かわかったりするようにする。

4. 学校教育目標・校内研究とのかかわり

学校教育目標

☆「自分を磨く子」の育成 ☆

◎目指す児童像

やさしい子・たくましい子・かしこい子の育成

㊦心のこもったあいさつ・・・やさしい子

㊧やさしいことばと思いやり・・・たくましい子

㊨強い体と やりぬく気持ち・・・かしこい子

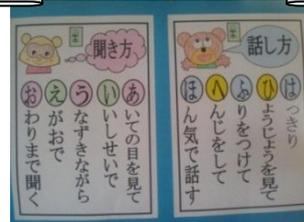
校内研究主題

～ 国語科の学習を通して ～

自分の思いや考えを

生き生きと伝えることのできる子どもの育成

話し方・聞き方の基本(2年)



小谷小学校では、学習指導要領のねらいである「生きる力」を具現化するために、「やさしい子」「たくましい子」「かしこい子」の3つの子ども像をイメージし、教育課程を編成している。自分の思いを相手に伝える力を育て、豊かなかかわり合いを通して高め合いながら「自分を磨く子」を育成していくことを目指している。校内研究としては、国語の「話し合い」を研究主題に定め、話し方・聞き方の基本を各学年で設定することで、よりよい人間関係を築く言語の力を育てていこうとしている。本議題でもこの話し合いの基本をベースに、学級会が進められるようにしていきたいと考える。

5. 指導・評価の過程

(1) 第1学年及び第2学年の評価基準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助けあって実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

(2) 活動内容・評価の視点

	活動内容	評価の視点
事前	1 前期の係活動を振り返る 2 係決めでの問題点を議題化する。 3 計画委員を中心に話し合いの活動計画を立てる。 4 係決めの方法と、その理由について考える。	○係活動を振り返り、係の楽しさを感じ取ることができる。 ★児童の言動 ○学級をよくするために係を決めたいという関心を高めている。 ★計画委員による議題の選定 ○話し合いの内容や進め方を理解することができる。 ★学級会ノート ○意欲的に係を決めるための方法を考えている。 ★学級会ノート
本時	1 めあてをつかむ 進め方の確認をする。 2 話し合い ・柱1 後期の係を決めよう。 3 話の振り返り ・先生の話 ・自己評価	○話し合いの進め方を理解し、積極的に話し合いに参加しようとしている。 ★児童の態度 ○自分の考えを積極的に発表している。 ★児童の発言 ○提案理由をもとに係を決めることができる。 ★児童の発言 ○集団決定から係活動への意欲を高めている。 ★学級会ノート
事後	1 自分が取り組みたい係を決める。 2 新しいメンバーで係の活動内容を話し合う。 ・活動内容を考える。 3 学級全体に活動内容を報告し、係活動を行う。	○係の活動を進んで提案している ○係の役割を進んでしている ★児童の言動 ★児童の態度

(3) 本時の活動

①目標

- 自分の意見に理由を加えて、進んで発表することができる。
- 学級目標達成に向けて考え、話合うことができる。
- 司会や記録の仕方や基本的な話し合いの進め方を理解している。

②展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (☆=評価基準)
1. はじめの言葉を言う。 ・司会、副司会、ノート(1)、黒板(2) 2. 議題の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに自分の考えをまとめておくことで、自信をもって参加できるようにする。 ・司会が、話し合いの方法や会の進め方がわかるように、司会カードを準備する。
こうきのかかりを きめよう	
3. 提案理由を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は、司会の近くに座り、会がスムーズに進むよう助言していく。
<p>前期の終わりに「こうきのかかりを考えよう」というアンケートを取りました。その中に、こんな活動をしてみたいという素晴らしい意見がたくさんありました。どんな活動をしたいか、なぜその活動をしたいのかについて、みんなにわかるように提案して下さい。では〇〇さんからどうぞ。</p>	
4. 提案に対して意見や質問 5. 話し合いの条件を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に計画委員会と議題内容について話し合いを進めておき、帰りの会や掲示コーナーで知らせておく。
<p>①学級目標の達成のために必要な係活動を考えましょう。 ②自分が〇〇をしたいという思いを発表しましょう。</p>	
6. 話し合いをする。 〈柱1〉後期の係を決めよう。 <u>①係のアイディアの発表</u> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかのお世話をする係が必要です。 ・日直がお休みで困ったことがあったのでお助け係が必要です。 ・3組のことを紹介する新聞を作りたいので情報係を作りたいです。 ・わくわくタイムにみんなで遊びたいので、遊び係がいいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に話し合いで出てきそうな意見について、教師が、短冊を作成し準備しておく。 ・発言は挙手をしてからするよう助言する。 ・多数決を取る場合は、十分な話し合いがなされたか確認する。 <p>☆自分の考えに理由を加えて、進んで話し合いに参加している。</p> <p>☆司会や記録の仕方や基本的な話し合いの進め方を理解している。</p>

<p><u>②質問・意見交換</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生のときに、こんな係がありました。 <p><u>③係の整理・決定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の漢字は、手伝い係ではなく、日直さんではどうでしょうか。 ・〇〇係と〇〇係は、一緒にしてもよいのではないのでしょうか。 <p>7. 決まったことを確認する。</p> <p>8. 先生の話聞く。</p> <p>9. 終わりの言葉を言う。</p> <p>10. 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出にくいときは、近くの人と相談したり意見交換したりすることで、発言しやすい雰囲気を作るよう司会に促す。 <p>・決まったことに対して、見通しや期待感を持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしかった発言を評価し、果たした役割を話す。 ・司会グループを評価し、充実感を持たせる。 <p>・短時間で効果的に振り返りができるよう、振り返り学級会ノートを準備しておく。</p> <p>☆学級目標達成に向けて考え、話合っている。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③板書計画

第九回 サニータイム

け
っ
て
い
じ
じ
り
ん

• • •

は
し
ら
い

話
し
合
い
の
じ
ょ
う
げ
ん

て
い
あ
ん
理
ゆ
う

ぎ
だ
い

い
じ
じ
の
か
か
り
を
き
め
よ
う

7. 資料・ワークシート

前期の係

係名	前期の主な仕事内容	メンバー
てっだい	朝の漢字	2名（女女）
おんぶ	音楽全般	3名（男女女）
うんどう	レク、体育カード管理	3名（男男女）
ランチ	給食全般	3名（女男男）
リーダー	欠席フォロー、	3名（女女女）
ポスト	ポスト管理、配り補助	3名（女男男）
きゅうきゅう	保健全般	3名（男男男）
こくばんきれい	黒板清掃、チョーク管理	3名（男女女）
ブック	学級文庫管理	2名（男女）